

制服等の採択品について

1. 採択品の選定方針

原則として、アンケート結果で選択者が多いものを採択品とする。

同等の場合は、新しい制服等の当事者（新しい制服を着る者、購入する者、教職員）の選択傾向を尊重する。

2. アンケート概要

調査期間：令和 7 年 4 月 25 日（金）～5 月 21 日（水）

調査方法：WEB アンケートフォーム。一部低学年は紙のアンケート用紙。

回 答 者：164 名

[回答者内訳]

属性	人数	所属校区	回答者内訳
小学生	92 名	東桜島小	23 名（男子 10/女子 13）
		黒神小	0 名
		桜洲小	40 名（男子 22/女子 14/性別不明 4）
		桜峰小	29 名（男子 20/女子 8/性別不明 1）
中学生	7 名	東桜島中	2 名（男子 1/女子 1）
		黒神中	0 名
		桜島中	5 名（男子 2 名/女子 3）
小学生・未就学 児の保護者 （年少の子）	26 名	東桜島小	5 名（男子 1/女子 3/性別不明 1）
		黒神小	0 名
		桜洲小	13 名（男子 6/女子 5/性別不明 2）
		桜峰小	8 名（男子 4/女子 4）
中学生の保護者	4 名		
小・中の教職員	10 名		
桜島居住の方	11 名		
その他	14 名		
合 計	164 名		

■回答状況

小学生は、ほぼ全員が回答したが、中学生はほぼ回答しなかった。

小学生の末子数約 75 名から、保護者の回答は約 35%、教職員約 65 名から、教職員の回答は約 15%と、いずれも回答者数が少なかった。

一般の居住者からの回答もほぼなされなかった。

3. アンケート結果

アンケート結果の詳細は別紙のとおり。

■制服の回答傾向

全体としては『制服②』が優勢だが、当事者だけでみると『制服③』が多い。

[回答結果]

	制服①	制服②	制服③
全 体	4 4	6 5	5 5
(内訳) 当事者	3 7	4 0	5 1
一般の方	7	2 5	4

■ジャージの回答傾向

『ジャージ①』が全体としても、当事者としても最も多く、過半数以上の方が選択している。

[回答結果]

	ジャージ①	ジャージ②	ジャージ③
全 体	9 3	3 3	3 8
(内訳) 当事者	7 2	2 6	3 0
一般の方	2 1	7	8

[選択理由] 複数回答可

	ジャージ①	ジャージ②	ジャージ③
デザインがいい	3 4	1 5	1 9
機能性がいい	3 6	1 1	9
価格が安い	2 7	0	1
特に理由はない	6	2	4
その他	3	4	0

ジャージ①その他：カッコいい。色がいい、動きやすそう

ジャージ②その他：シンプルでよい、色が一色なのがいい、落ち着いている、
動いていない時の保温性がいい

■ 体育服の回答傾向

『体育服①』が全体としても、当事者としても最も多いが、過半数を超えてはいない。

低価格の『体育服②・③・④』を選択した方の合計数が過半数を超えており、「価格が安い」を選択理由としている傾向がある。

[回答結果]

	体育服①	体育服②	体育服③	体育服④
全 体	7 4	2 1	2 1	4 8
(内訳) 当事者	5 4	1 7	1 6	4 1
一般の方	2 0	4	5	7

[選択理由] 複数回答可

	体育服①	体育服②	体育服③	体育服④
デザインがいい	3 2	6	4	1 3
機能性がいい	2 2	5	9	1 3
価格が安い	1	5	6	1 2
特に理由はない	6	3	2	4
その他	3	0	1	1 3

体育服①その他：かっこいい、動きやすそう、独創性がある

体育服③その他：他がよくないから

体育服④その他：インナーを気にしなくてよい（２）、汚れが目立たない（８）、
黒が好き、ジャージが②なら色が一緒になるから、
色が濃いため、洗濯による再汚染が目立ちにくい

4. 採択品(事務局案)

■制服

制服② (チャコールベース)

選定理由：色柄が落ち着いており、着用者の体形の影響を受けにくい。

全体としては、制服②の選択者が最も多い。

■ジャージ

ジャージ① (ピストレ素材)

選定理由：価格帯が最も安く、オリジナルデザインにより学校独自性を表現することが可能。

全体も、児童生徒もジャージ①の選択者が最も多い。

■体育服

体育服① (スペースマスターUV)

選定理由：オリジナルデザインにより学校独自性を表現することが可能で、また、ジャージ①と一体感が得られる。

全体も、児童生徒も体育服①の選択者が最も多い。

お下がりの取扱い

原則として8年4月に新7年生(新中学1年生)となる方から、新しい制服・ジャージ・体育服を購入することとするが、お下がりの着用を希望する場合は、必ずしも購入しなくてもよいこととする。

開校後3年間を新旧混在期間とし、11年度からは統一とする。

小学生の標準服は指定用品とはしないことから、お下がりの着用期間の制限は設けない。

5. 最終仕様とスケジュール

最終仕様を検討し、8月末をめどに採択デザインを公表し、11月頃に試作品発表や購入に向けてのサイズ合わせ（採寸）、取扱店の案内などを行う予定。

■制服

大きなカスタマイズは行わないが、ジャケットのボタンはオリジナルデザインを制作する。（校章デザイン又はメーカーデザイン提供）

■ジャージ

①デザイン

昇華プリントデザインの追加料金不要となる範囲内で、オリジナルデザインを制作する。

色柄の異なるデザインをメーカーに2種類提案いただき、児童生徒にアンケートしたうえで採択デザインを決定する。

追加デザインの色柄の要素（デザインに取入れるモチーフや色見）として要望があれば、メーカーに伝えます。

桜島 ⇒ 火の島・マグマ（赤）、桜島の自然（茶色の山肌や緑の松）、火山灰、溶岩

特産品 ⇒ 椿油、桜島大根、桜島小ミカン、びわ、桜島フェリー

校舎・学校 ⇒ 赤みのあるレンガ屋根、8棟の校舎、9年制

など

②個人名

個人名刺繍は行わない。

■体操服

①デザイン

採択されたジャージデザインをもとに、オリジナルデザインを制作する。

半袖Tシャツと同デザインで、長袖Tシャツも制作する。

②個人名

個人名刺繍は行わない。